

令和5年度 富野中学校 学校経営の全体構想



学校課題

■挨拶や時と場を考えた行動など校内での基本的な生活習慣は身に付いている。生徒会の活動等により、人権感覚も高まりがみられる。自ら課題解決に向かおうとする遅さに弱さが見られる。自分の良さに気づき、自ら実践する行動力を身に付ける必要がある。

■一人一人の学習課題や、つまづきに合わせた指導・援助ができ学力の定着は高い。反面、論理的に思考する力に苦手意識がある。また、教師主導（しゃべりすぎる）の授業により主体的に学ぼうとする姿勢が弱い。職員研修の充実（研修主事の配置）

■真面目で素直な生徒が多い反面、夢や目標をもって、常に自分から努力することが少ない。キャリア教育等を通して、自発的・自治的な活動を展開することで、達成感をもてる指導計画の工夫・改善する必要がある。

学校の教育目標

夢をもち 遅しく 生きる生徒
～ひたむきに・しなやかに・さわやかに～

指導の重点

生徒指導の基本 生徒の変容に対しての気づきを大切に！

ひたむきに（生活指導）

一人一人の違いを認め、尊重し、夢と思いやりあふれる学校(LGBT教育)

しなやかに（学習指導）

課題解決に向けて主体的・対話的で仲間と深い学びができる学校

さわやかに（特活指導）

自分や仲間に向き合い、願いをもち、支えあって課題を乗り越える学校

掃 除

- 生活指導
 - ・交通安全指導
 - ・服装（新制服等）、掃除
 - ・心のアンケート、教育相談
- 環境指導
 - ・教室環境
- 保健指導
 - ・コロナ等の感染症対策
- 食に関する指導
 - ・給食指導
- 安全指導

授 業

- 学習指導
 - ・生徒の主体的な学習
 - ・ICT（タブレット）を活用した学習
 - ・仲間と学び合う学習
- 全国学テ活用による学習
 - ・課題の明確化とその対策
- 図書館指導
 - ・読書活動の充実（新聞3社の活用）
 - ・朝読書の充実(情操)

合 唱

- 総合的な学習の時間
 - ・年間を見通したキャリア教育の推進
 - ・1年 ふるさとから学ぶ
 - ・2年 自然や職業から学ぶ
 - ・3年 他の街や人から学ぶ
- 道徳を要とした「いのちの教育」
- 仲間との協働
- ・とみフェス、音楽会、学習発表会等
- 磨く掃除の実践
- 地域行事やボランティア活動への参画

生徒会の三本柱

（掃除・授業・合唱）

ひたむきに・しなやかに・さわやかに

自発・自治を鍛える生徒会活動

- ・MSJリーダーズ活動による小中連携活動の充実
- ・「富野中学校人権宣言」の実践
- （一人一人のよさを認め合う「笑顔の木」の活動）

学校経営のスローガン 生徒自ら動きだす授業と活動の工夫

・生徒が主体的に活動できる時間を創意工夫する。・保護者、地域に信頼される学校・教師がやる気が出る学校をめざす・生徒と信頼関係を築ける職員集団・職員間で学び合える主体的な集団

特色ある教育活動～人権感覚を磨き「共に生きる力」「いのちの大切さ」をはぐくむ教育活動、地域貢献～

中濃特別支援学校との交流教育

知的障がいのある生徒との交流を通して共に生きることや、障がい者への偏見や差別等、人権にかかわる諸問題を理解すると共に、「いのちを大切に」心を育む。

9年間を見通した小中連携の推進

小・中が共通理解に基づいた指導を進めることで、9年間を見通した一貫性と系統性のある指導が進み、小から中へのなめらかな引継ぎとより効果的な教育ができる。

富野ふれあい文化祭への参画・運営

学校の情報を発信するとともに、地域の行事に参画することで、地域住民の一員であることを自覚し、地域への感謝を行動で示す。